



CHORI

個人投資家向け 会社説明会

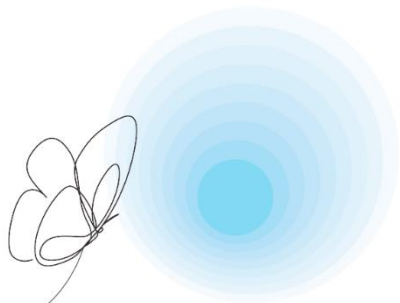
2026年3月23日

本資料で記述されている業績予想並びに将来予測は、本資料のセミナー開催日現在において入手可能な情報に基づき作成したものです。本資料において当社の将来の内容・業績を保証するものではありません。

蝶理株式会社



1	会社情報		P. 2
2	事業内容と強み		P. 7
3	成長戦略	中期経営計画「Chori Innovation Plan 2025」	P.27
4	株主還元		P.37
5	参考資料		P.40



1	会社情報	P. 2
2	事業内容と強み	P. 7
3	成長戦略 中期経営計画「Chori Innovation Plan 2025」	P.27
4	株主還元	P.37
5	参考資料	P.40

1

会社情報

商号 蝶理株式会社 (CHORI CO., LTD.)

代表者 代表取締役社長 社長執行役員 迫田 竜之

所在地 東京本社：東京都港区港南2-15-3

大阪本社：大阪府大阪市中央区淡路町4-2-13

資本金 68億円

設立 1948年9月2日

創業1861年

決算日 3月31日

上場市場 東証プライム市場

証券コード 8014

単元株 100株



初代社長
大橋 理一郎

「蝶理」の由来

生糸（繭）を生み出す蛾を「蝶」と言い換え、
創業家・大橋一族の当主「理一郎」の名前から「蝶理」としました。

企業理念

私たちは地球人の一員として、公正・誠実に誇りを持って行動し、顧客満足度の高いサービスを提供し続け、より良い社会の実現に貢献します。

コーポレートスローガン

あなたの夢に挑戦します。

連結従業員数

1,354名

海外拠点数 ※1

30拠点

子会社・関連会社 ※1

39社

仕入先

約**1,600**社

販売先

約**1,400**社

売上高

3,115億円

税金等調整前当期純利益

163億円

貿易比率

68.0%

総資産

1,461億円

ROA ※2

8.1%

ROE ※2

13.4%

ROIC ※3

11.1%

※1 2025年12月31日現在

※2 親会社株主に帰属する当期純利益ベース

※3 ROIC = 税引後営業利益 ÷ 投下資本（自己資本 + 有利子負債）期中平均

2

事業内容と強み

イメージキャラクター
CHORIくん



蝶理の事業 = 高い専門性 × 強固なネットワーク



1861年創業以来の
中核事業

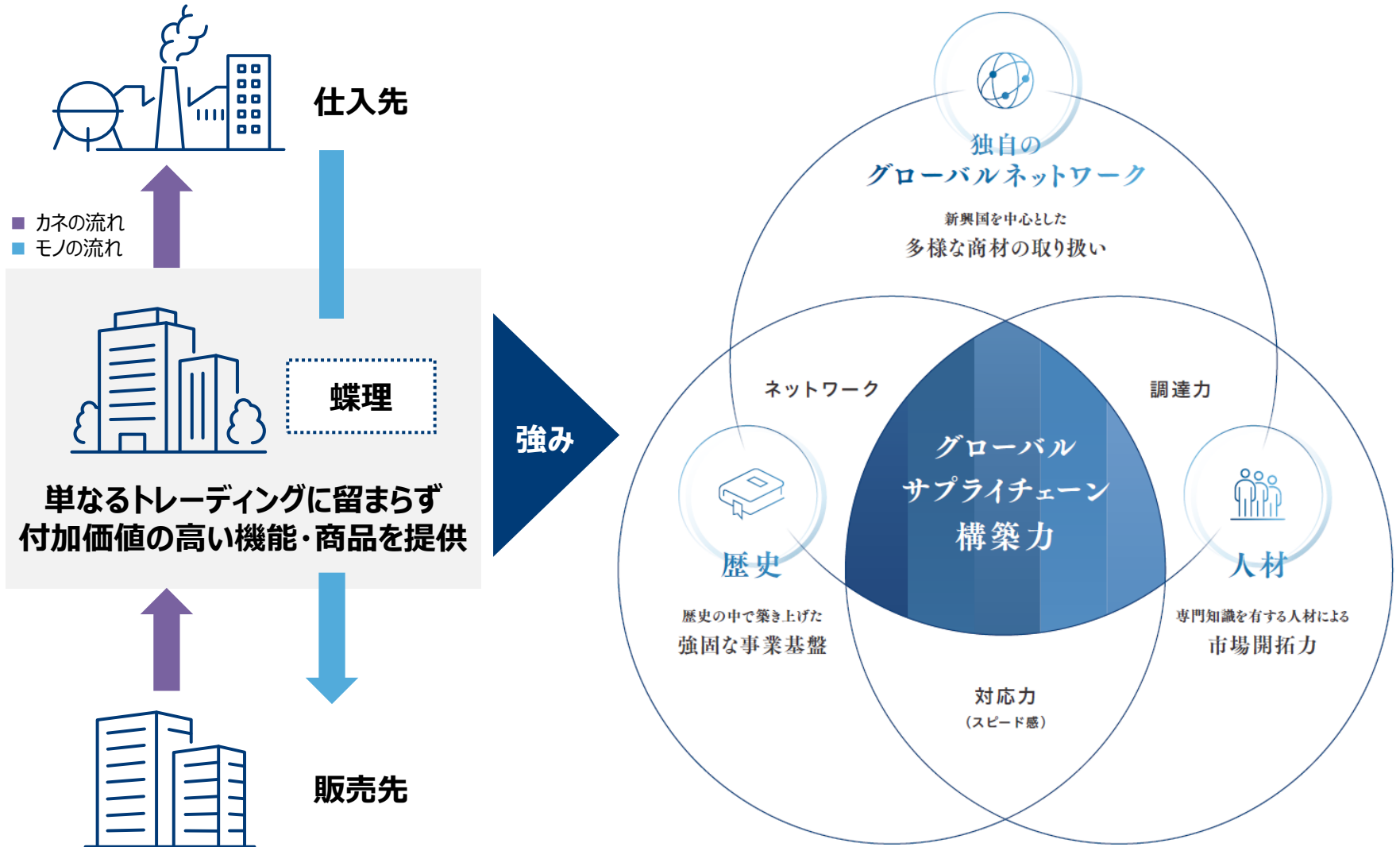


ニッチな原料・分野・市場で
ビジネスモデルを創出



グローバルネットワークを
活かした事業を展開

繊維・化学品・機械事業に特化し、グローバルネットワークや市場開拓力を武器に顧客のニーズに応える



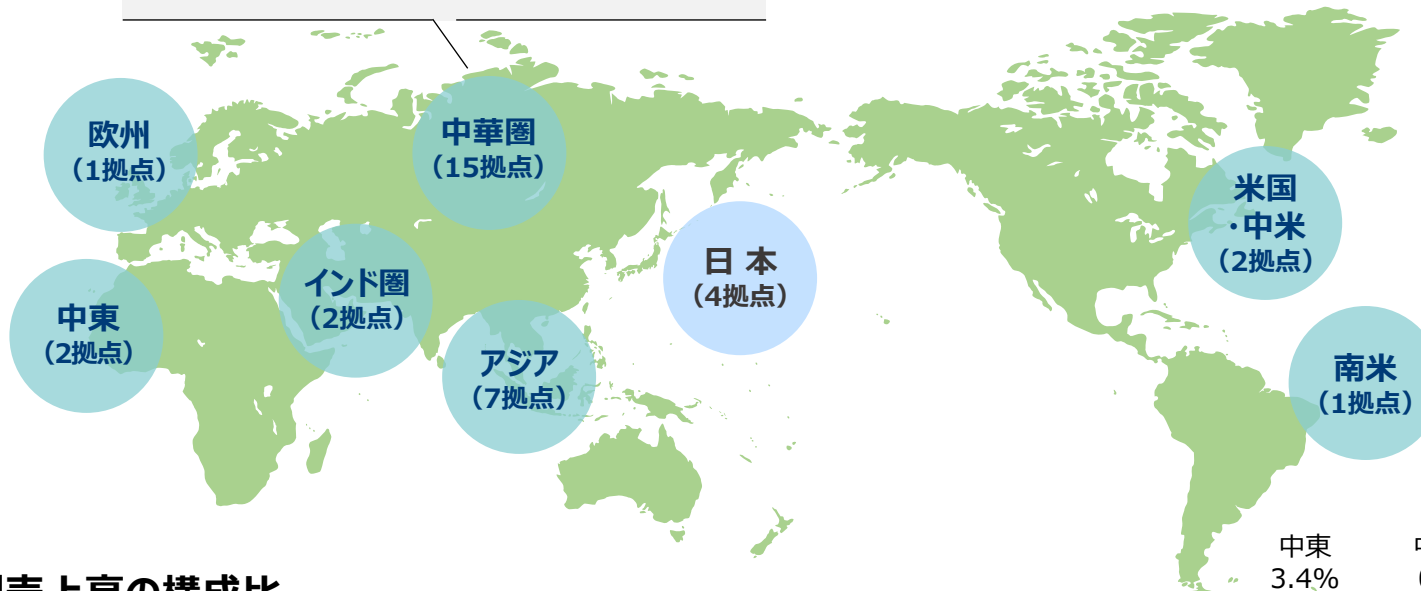
強み1. 独自のグローバルネットワーク

国内4拠点、**中国・アジア**を中心に**海外30拠点**、**連結従業員1,354名**を有するネットワークを構築

海外拠点網の拡充

1961年 日中友好商社第一号の指定
 1978年 日中平和友好条約締結
 1980年 北京事務所設置

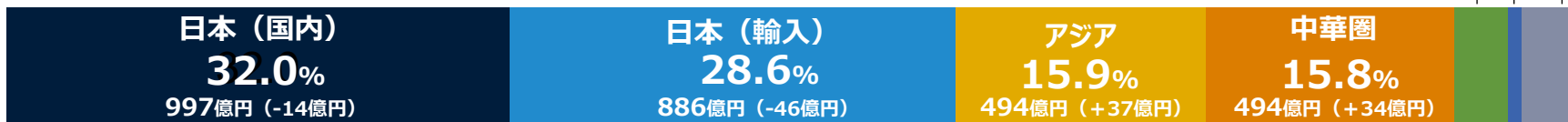
海外30拠点（現地法人 18拠点、事務所他 12拠点）



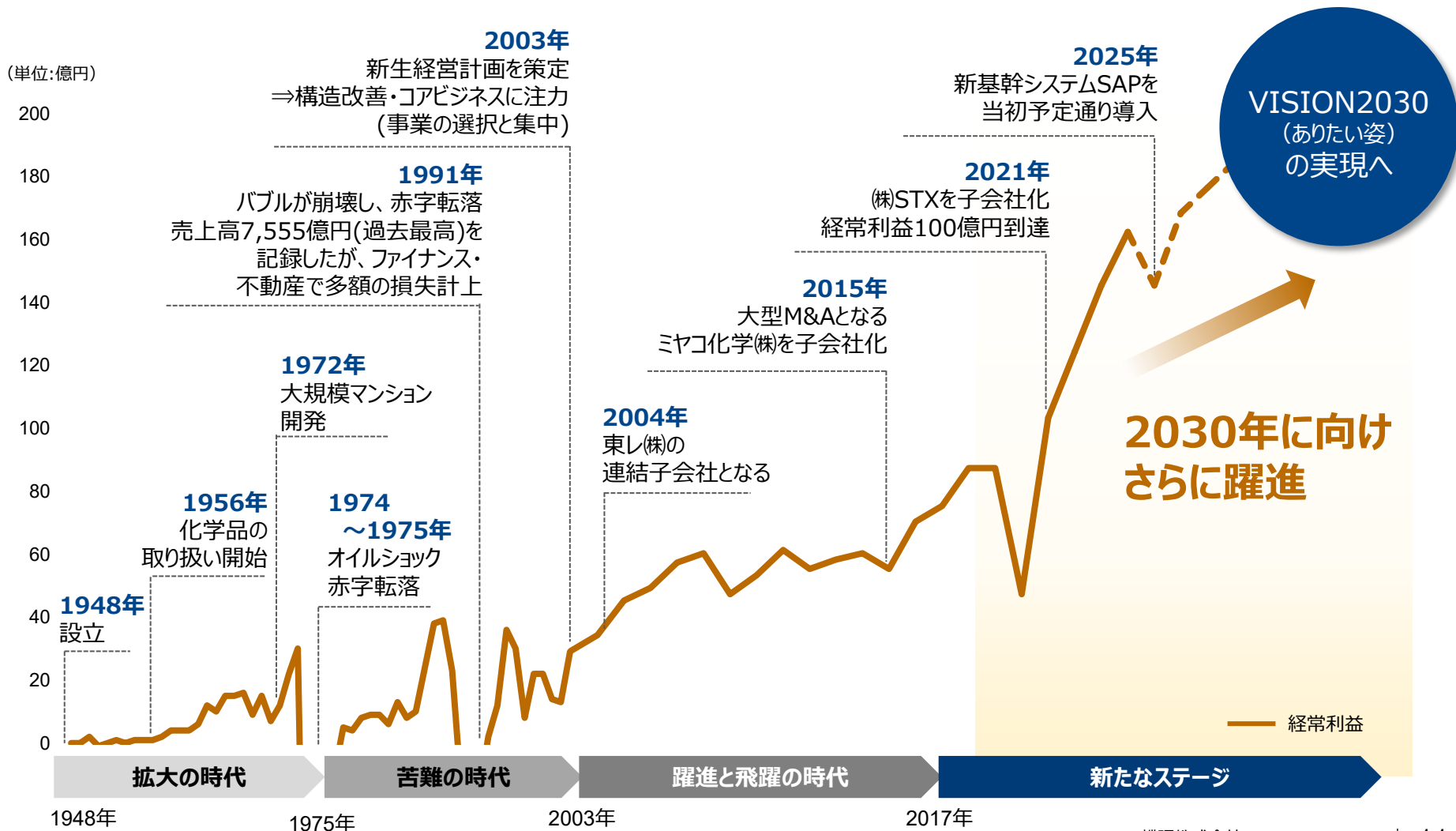
地域別売上高の構成比

（2025年3月期 売上高3,115億円（前年比+38億円））

中東	中南米	欧米・その他
3.4%	0.9%	3.6%
105億円 (+24億円)	28億円 (-1億円)	112億円 (+5億円)

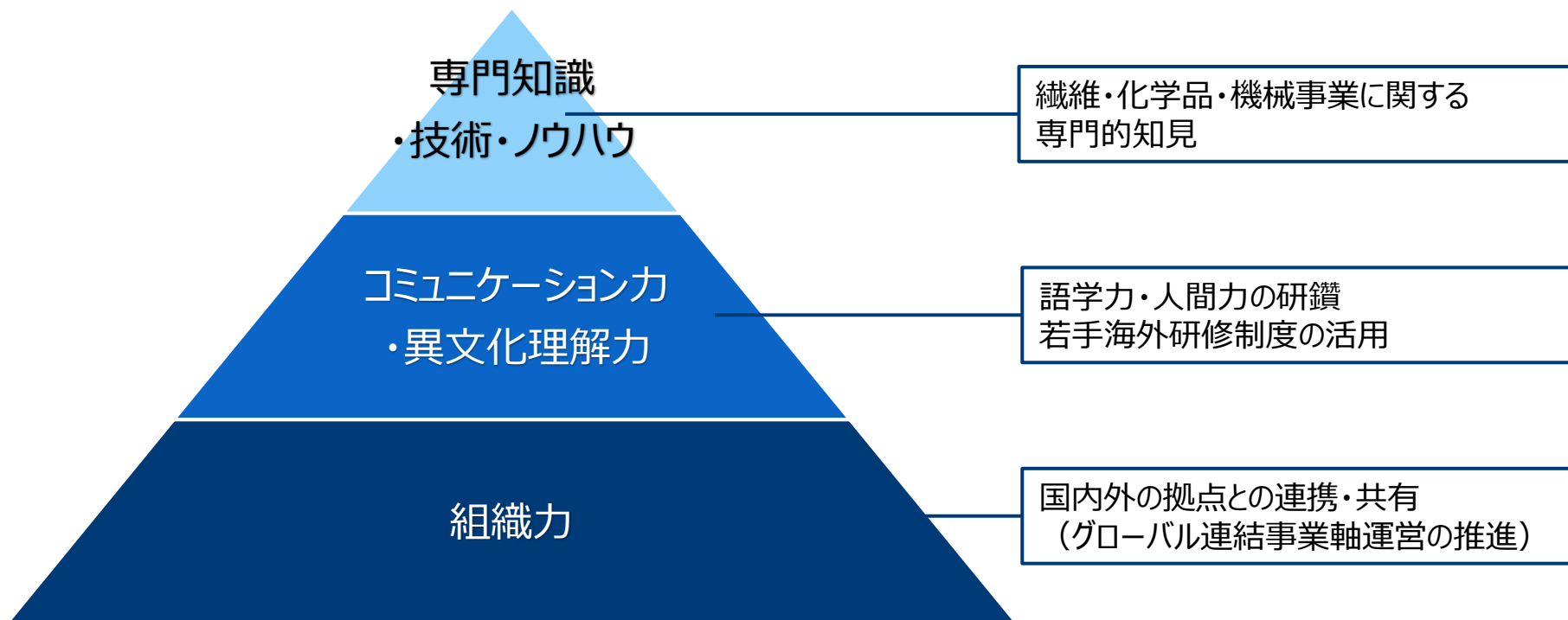


- 2003年に新生経営計画を策定以降、堅実な経営
- 繊維事業・化学品事業を軸にバランスの取れた事業ポートフォリオを構築し、グローバルに事業を展開



繊維・化学品・機械事業に関する専門的な知見を有し、**多様性に富んだ人材**が国内外で活躍
個の力をベースに**組織的に対応**し、様々な課題の解決（顧客ニーズ）に取り組む

顧客や取引先等と 強い信頼関係を構築



サステナビリティ基本方針・マテリアリティ

蝶理グループ° サステナビリティ基本方針

蝶理グループは、創業当初からの「世のため人のために事業を伸ばし、常に得意先と発展をともにしよう」と願う共存共栄の精神のもと、企業理念に掲げる「地球人の一員としてより良い社会の実現」に取り組んでいます。

コーポレートスローガン「あなたの夢に挑戦します。」に基づき、重要課題（マテリアリティ）の実践を通じてグループを持続的に成長させ、持続可能な社会の実現に貢献します。

マテリアリティ

重点テーマ



持続可能で豊かな
社会の実現に
資する事業の推進

- カーボンニュートラルの実現（2050年）に向け気候変動による影響低減への貢献
- 脱炭素・循環型商材の更なる拡充によるサーキュラーエコノミーの確立
- 事業活動を通じた社会課題の解決
- トレーディングにとどまらない価値創造
- サステナブル素材の更なる拡充と取り扱いの拡大



人材育成と
ダイバーシティの推進

- 社員が働き甲斐を感じ、幸せになれる企業の実現
- 人的資本投資（人材育成、採用強化、ダイバーシティ）
- エンゲージメント向上（働きがい、働きやすい環境整備）、健康経営の推進



サプライチェーン
マネジメントの強化

- 高品質・安全性に優れた商材や原料の調達力の維持
- 安定したサプライチェーンの維持・強化（BCPの安定）
- グローバル需要に合わせた資源の有効利用と安定的な調達・供給
- サプライヤーの人権、労働、安全衛生への対応



ガバナンスの強化・
コンプライアンスの徹底

- 持続可能な成長を実現するガバナンス体制の維持・強化
- コンプライアンスを遵守する社員の意識の更なる醸成

サステナブル商材の取扱拡大をさらに推進すべく 定義を整理し分類を明確化

サステナブル商材の分類

✦ 蝶理グループならではの知恵と工夫を付加している商材をPlus Value商材として設定

*Plus Value商材

マテリアリティ

- 

持続可能で豊かな
社会の実現に
資する事業の推進
- 

人材育成と
ダイバーシティの推進
- 

サプライチェーン
マネジメントの強化
- 

ガバナンスの強化・
コンプライアンスの徹底

環境を守る

暮らしを守る

GHG排出削減

- ✓ CO2吸収機能を有する
- ✓ 製造/使用/廃棄過程におけるGHG排出量削減に貢献

商材例 繊維：速染生地

エネルギー効率化
再生可能エネルギー普及

- ✓ エネルギー効率向上に貢献
- ✓ 再生エネルギーの普及に貢献

商材例 化学品：住宅用断熱材向けウレタン原料

環境負荷の低減
(環境汚染の防止)

- ✓ 製造/使用/廃棄過程における環境負荷低減に貢献
- ✓ 商材が生分解性を有し、環境負荷低減に貢献

商材例 繊維：着色した原糸ポリエステル糸「ECOSOL®」*
化学品：生分解性樹脂*

資源循環

- ✓ 廃棄物・副産物を活用することで資源循環に貢献

商材例 繊維：リサイクルポリエステル糸「ECO BLUE®」*

食を守る
(持続可能な食糧生産)

- ✓ フードロス削減への貢献
- ✓ 持続可能な食糧供給への貢献
- ✓ 安心安全な食づくりへの貢献

商材例 化学品：農地に残留しない薬剤の原薬、中間体*

衣を守る

- ✓ 快適な衣の提供で持続可能な社会へ貢献

商材例 繊維：高伸縮機能糸「TEXBRID®」*、北陸産地の
伝統技術により生まれた高性能糸「SPX®」*

健康を守る

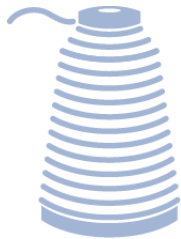
- ✓ 健康寿命延伸への貢献

商材例 化学品：ジェネリック薬・先発薬の原料、中間体*

繊維事業

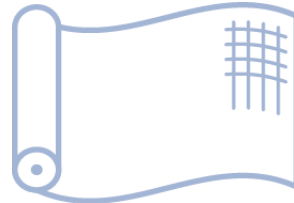
原料を扱う「川上」から
テキスタイルや資材を扱う「川中」
最終製品を扱う「川下」まで
トータルに事業を展開

繊維事業の特長



川上分野

繊維原料
(原糸・原綿)



川中分野

テキスタイル・資材
(織物・編物等)



川下分野

アパレル製品
(衣料品)



繊維原料部

<取扱商材>
合繊原料・ポリエステル糸・ナイロン糸
<特徴>
国内外の衣料・資材用途として展開



ワークスタイル部

<取扱商材>
メディカルウェア・ユニフォーム・スーツ・衣料資材
<特徴>
企画・製造事業をグローバルに展開



テキスタイル部

<取扱商材>
スポーツウェア・中東民族衣装向け生地等
<特徴>
素材提案から製品提案まで行う



アパレル部

<取扱商材>
レディースファッション・メンズファッション等
<特徴>
企画から物流まで、一貫したグローバルSCM



資材部

<取扱商材>
衛材・生活資材・建材
<特徴>
高機能不織布を用いた製品を取扱



パフォーマンスウェア部

<取扱商材>
スポーツウェア・インナーウェア等
<特徴>
スポーツウェアはゴルフ・アスレチック用が中心



車両資材部

<取扱商材>
自動車内装材用原料・表皮等
<特徴>
国内マーケットシェア率No.1

主なグループ会社

(株)STX

・・・天然繊維を得意とする繊維専門商社

(株)アサダユウ

・・・自動車内装資材・梱包資材を販売

MCC Industry COMPANY LIMITED (香港)

・・・グローバルスポーツウェアメーカーへゴルフウェア等を販売

北陸産地との協業（高い技術力の背景）



仮撚り機 糸の巻取り工程

■ 概要

繊維産地として400年の歴史を持つ北陸地域（福井県、石川県、富山県）には、糸加工、織物、染色等の技術で世界をリードするジャパンクオリティを持った企業が集積。ダウンウェア生地は、ヨーロッパのトップブランドでも数多く採用。

■ 背景

蝶理は、1934年現北陸支店を開設し、北陸産地の企業と繊維事業で協業。「北陸蝶理会」や「北陸ヤーンフェア」の開催等を通じた強い結び付きがある。

海外生産拠点を活かした、OEM事業展開



■ 概要

中国・ASEAN諸国等の生産・加工拠点を活かし、製造～物流一貫型OEM事業を展開。グローバル適地調達・適地生産・適地販売のネットワークを構築。2021年6月に子会社化した(株)STXが有する高品質の製品を提供するベトナム自社工場を活用し、高い顧客満足度を実現。

■ 背景

ベトナム・インドネシア等のASEAN諸国は、中国に代わる生産拠点として各国が注目。地政学的リスクに備え、中国・ASEAN諸国の特徴を活かしたサプライチェーンを構築。

サステナビリティコンセプト：BLUE CHAIN®（ブルーチェーン）

- ・「繊維産業の川上から川下の各段階におけるサステナビリティに対応した取組」サプライチェーンのサステナビリティ全体最適化を実現する蝶理独自のプロジェクト。
- ・取引先企業と協働し、環境に配慮した糸・生地・製品での取組を拡大。



BLUE CHAIN®の取組

ECO BLUE®

回収ペットボトルから生まれた、リサイクルポリエステル糸

蝶理の環境配慮型商材の主力商品。回収した使用済ペットボトルを洗浄・粉砕し、新たな繊維に再生し、貴重な資源を循環。長繊維から短繊維まで200種類以上の品種を展開。国内外の生産背景から提供する蝶理独自の高性能素材とECO BLUE®を組み合わせ、リサイクルだけではない価値のある糸を生み出せることが強み。



ECO BLUE®×WS™

環境配慮型ポリエステル繊維

小松マテール(株)が開発した速染糸「WS™」は、低温で速く染まる特徴を持つ。染色時間を大幅に短縮し、染色加工におけるCO₂排出量を従来比約30%削減。ECO BLUE®との組み合わせで、CO₂をダブルで削減。



BLUE CHAIN®の取組

TEXBRID®

形状回復性に優れた高伸縮機能糸

バネ状の分子構造で優れたストレッチ性と伸長回復性を有する高伸縮機能糸。体を締め付けることなく自然にフィットし、快適な着心地を実現。シワになりにくく、スポーツからビジネスまで日常使いで活躍。



ECOSOL®

原着ポリエステル糸

糸をつくる段階で色をつける（先染め）ため、後染め工程での染料が不要。生地で染色する場合と比較し、水使用量やCO2排出量を削減した素材。



BLUENY®

サステナブルナイロン

ナイロン素材のサステナブルな素材。繊維くず由来のリサイクルナイロン「LOOP」、回収漁網由来のポスト・コンシューマーナイロン「OCEAN」を展開。



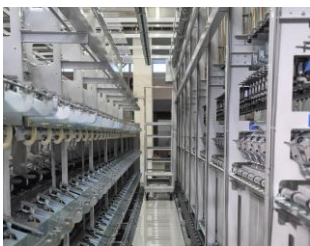
B-LOOP®

繊維製品の循環型スキーム

ポリエステルをはじめとした素材を綿や糸に戻すことで、衣服や資材等の様々な用途へ循環。糸への再生が難しい素材は、反毛後に自動車の吸音材や水害防止用の河川敷マット等へ再利用。



トピックス：PIN仮撚り機の無償貸与



- 「SPX®」としてブランディングしているPIN仮撚り糸の量産機と試験機を北陸の協力企業に無償貸与。2025年11月より本稼働予定。
- 引き合いが増加しているPIN仮撚り糸の生産キャパシティ及び効率を上げ、国内外での原料事業の拡大を目指す。

化学品事業

ニッチな原料・分野・市場で
ビジネスモデルを創出

化学品事業の特長

グローバルネットワークを活かしながらニーズに応えることで他社との差別化を進め、市場での存在感を高めている。





パフォーマンスケミカル部

<取扱商材>
ウレタン原料・化粧品原料等
<特徴>
バイオ原料等の環境商材に注力



無機ファイン部

<取扱商材>
リチウムイオン電池関連材料・ガラス原料等
<特徴>
世界的なガラスメーカーに原料を供給



化工原料部

<取扱商材>
電子部品関連・リン酸
<特徴>
川上の商材を多く取扱



ファインケミカル部

<取扱商材>
医農薬中間体、機能性中間体等
<特徴>
マーケットイン型のビジネスモデルを推進



ライフサイエンス部

<取扱商材>
食品添加物、飼料添加物、健康食品素材等
<特徴>
「食」に関する事業を幅広く展開

主なグループ会社

ミヤコ化学(株)

…化学品・合成樹脂・医薬品・食品・電子部品等の原料、製品等を取り扱う化学品専門商社

(株)小桜商会

…潤滑油添加剤・燃料油添加剤等の化学製品を取り扱う化学品専門商社

蝶理GLEX(株)

…化学品・建材・工業品等を輸入販売する化学品専門商社

グローバルネットワークを活かした幅広いラインナップ



- 1956年に化学品の取り扱いを開始して以来、化学品事業は60年以上の実績を蓄積。
- 最大の強みとする中国との取引に加えて、ASEAN諸国、インド、中東等との輸出入・仲介取引といった三国間貿易に注力。
- 多様な国々との取組を強化し、地政学リスクに対応。

スピード感ある細やかな営業



- 若手社員に実践的な現場経験を積ませ、専門知識や営業ノウハウを継承。
- メーカー主導のプロダクトアウトから顧客に寄りそうマーケットインのビジネスモデルを推進し、最適な商材を提供。
- サプライチェーンの変化にあたり、蝶理が選ばれる機会が増加。商材等を充実し、対応。

トピックス：機能性中間体ビジネス



- 半導体、電材等の機能性中間体ビジネスが好調。
- マーケットインの志向で、中国や韓国、インドから半導体材料を調達。
- 半導体分野では、合成だけでなく濾過や精製工程における取引も増加。

CovationBioと戦略提携契約締結



- 江蘇華峰瑞訊生物材料有限公司（以下「CovationBio」）と戦略提携契約を締結。
- CovationBioは、華峰集团有限公司がDuPont de Nemours, Inc.からバイオ材料事業を買収し、2023年に設立した企業。革新的なバイオベース素材の開発と製造に特化。
- 「価値共創型アライアンス」として、高機能なバイオベース素材の普及と革新を両社協力で推進。

中維化繊とパートナーシップ宣言書等を締結



- 中維化繊股份有限公司（以下「中維化繊」）と「パートナーシップ宣言書」及び「リサイクルナイロン66日本市場独占代理契約」を締結。
- 中維化繊は中国政府より、「専精特新」の「小巨人」：高い成長性や発展潜在性を持つ技術革新中小企業として認定。
- 蝶理は、技術革新と品質向上を追求し、産業用繊維分野における持続的な成長とグローバル展開を目指す中維化繊をサポート。

電解アルミニウム向けイオン液体の全世界※販売総代理店契約締結

※中国大陸を除く



- 2022年7月に浙江藍徳能源科技（浙江省）と日本、韓国、台湾、インド向け販売総代理店契約締結以降、イオン液体の販売拡大に注力。2025年3月、電解アルミニウム向けのイオン液体につき全世界（中国大陸を除く）販売総代理店契約を締結。
- 電解アルミニウムのイオン液体製法は新製法。今後、実用化に向け訴求を図る。
- アルミニウムの新地金の2024年の世界生産量は約7,200万トン※1と過去最高を記録（前年比 約3%増）。今後も拡大していく見通し。

電解アルミニウムのイオン液体製法とは

従来の製法

- ✓ 消費電力が膨大
- ✓ 電解温度900℃以上
- ✓ 生産量の約10倍のCO2排出※2
…CO2排出量の多い産業



イオン液体製法

- ✓ 消費電力は**従来の40%程度**
- ✓ 電解温度**100℃以内**
- ✓ イオン液体製法の過程における**CO2排出量は0**

＼ 大幅に環境負荷を低減する画期的な製法 ／

生活に欠かすことのできないベースメタルであるアルミニウムの持続的な供給と脱炭素社会の実現へ貢献

※1 出典：国際アルミニウム協会公表データ ※2 出典：日本アルミニウム協会公表データ

機械事業

グローバルネットワークを活かして、 事業を展開

機械事業の特長

2017年4月、事業の機動性向上を目的に、蝶理マシナリー(株)として分社化。
四輪車・二輪車・トラック等の輸送機器のほか、農業用機械、建設機械等を中南米、ASEAN、欧州向けに取引を展開。

事業内容



トレーディング事業



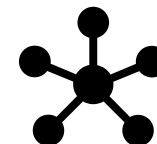
組立事業



輸入販売事業



部品事業



各種自動車関連
サービス事業

1 メキシコにおけるセミ・ノックダウン生産

セミ・ノックダウン生産とは、車輛を構成する部品やコンポーネントを仕向国へ輸送し、その輸送先で組み立て、車輛を完成させる生産方式です。この方式により、仕向国では雇用を創出する等様々な経済効果を生み、税金面の恩典も生み出しています。メキシコにおける2025年の自動車生産台数は、過去最高を記録した前年を0.9%下回り、395万台となりました。今後も、同国の基幹産業である自動車産業を軸に商機拡大に挑みます。



2 イタリア発の欧州戦略車

イタリアのパートナー企業と協働し、イタリア（160万台市場）でプレゼンスを確立しています。パートナー企業が開発するスタイリッシュな自動車が、現地の若者に支持され、市場で受け入れられたことで、好調に拡販が進んでおり、現在はSDGsに貢献する電気自動車も積極的に展開を進めています。

また、スペインを皮切りに東欧等欧州各地に向けた輸出ビジネスの展開も目指しています。



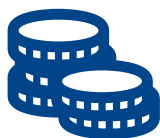
3

成長戦略

中期経営計画「Chori Innovation Plan 2025」

企業価値の向上に向けた目標

財務目標



	2026年3月期 計画	2026年3月期 予想 ^{※3}
売上高	3,600億円	3,000億円
税金等調整前当期純利益	160億円	145億円
親会社株主に帰属する 当期純利益	110億円	110億円
ROA（当期純利益 ^{※1} ベース）	7%以上	—
ROE（当期純利益 ^{※1} ベース）	12%以上	—
ROIC ^{※2}	約10%	—

※1：親会社株主に帰属する当期純利益

※2：ROIC（投下資本利益率）＝税引後営業利益／（自己資本＋有利子負債）

※3：2026年1月30日の業績予想修正後

非財務目標



- 環境等に配慮したSDGs商材の取り扱い拡大
- 総合職の採用人数、及び、総合職への職種転換の合計人数に占める女性割合：30%以上
- 男性社員の育児休業取得率の向上
- 管理職に占める女性の割合の向上
- 健康経営優良法人の認定継続
- DX（SAP導入）総投資額：約50億円

基本戦略の推進 ⇒ 企業価値の向上

基本方針

高機能・高専門性を基盤として、
グローバルに進化・変化し続ける企業集団

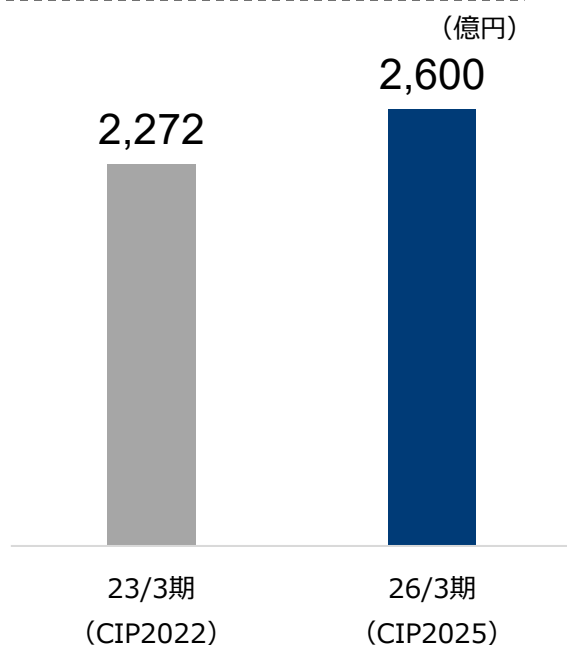




海外事業の強化・拡大

- <主な戦略ポイント>
- 主要海外拠点の運営基盤強化
 - 事業ポートフォリオの見直し・ブラッシュアップ
 - 海外収益力の強化
 - グループシナジーによる専門集団としての一体運営

貿易取引高※



※貿易取引高：輸入売上高＋輸出売上高＋海外売上高



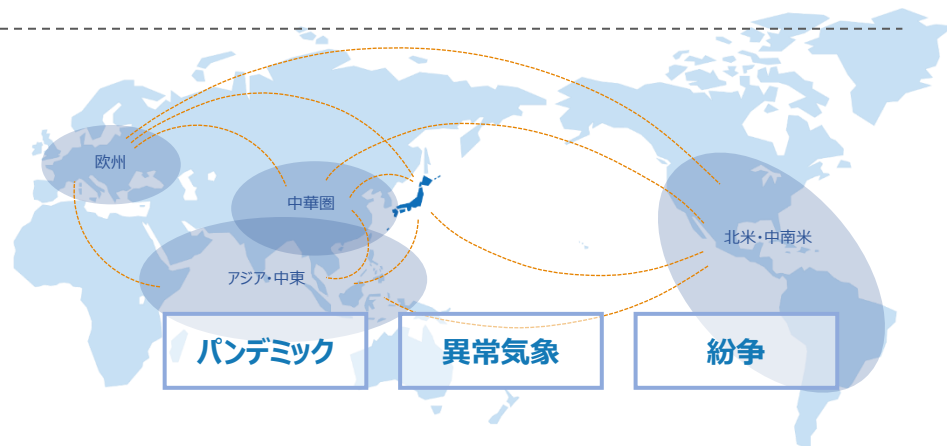


VUCA※時代における、目まぐるしい変化への対応

※Volatility（変動性）、Uncertainty（不確実性）、Complexity（複雑性）、Ambiguity（曖昧性）

- <主な戦略ポイント>
- 事業等のリスクを俯瞰的に捉え、機動的に対応
 - 新規開発・事業投資
 - M&A

グローバルサプライチェーンの多様化



パンデミック

異常気象

紛争

多様化する顧客ニーズに合わせたサプライヤーの開拓

世界的な需給バランスの変化を好機に変える

成長分野・成長地域への積極的事業投資



+α

成長分野：環境、健康・快適、グローバル

マーケットイン

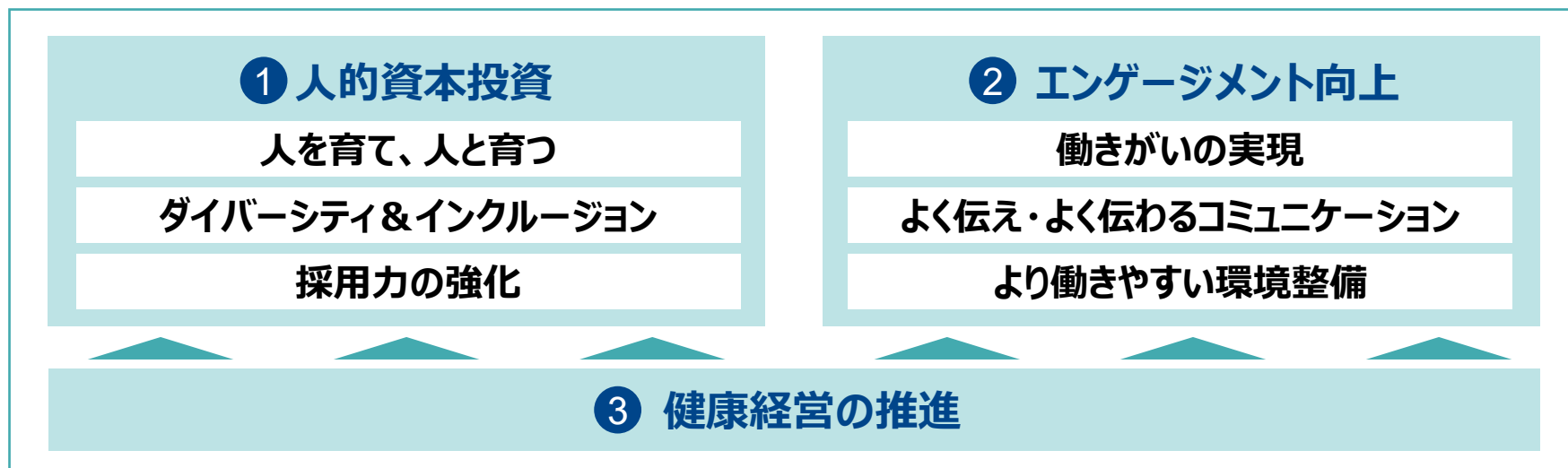
強化分野を事業投資・M&Aで補完



ステークホルダーのウェルビーイングの実現

人材育成

ウェルビーイングの実現 = 社員が働き甲斐を感じ、幸せになれる企業



人権の尊重

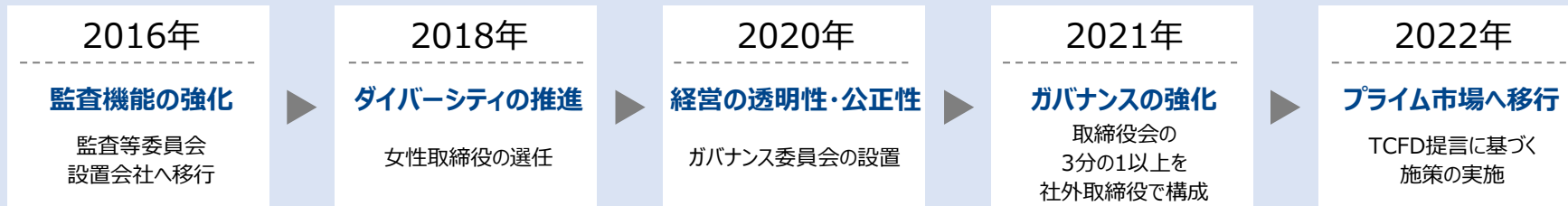
- 定期的にCSR調達アンケートを実施
- ESGに配慮した企業との取組強化



サステナブルなサプライチェーンの構築



<ガバナンス強化の変遷>



governance

コーポレート・ガバナンス

ガバナンス委員会による
ガバナンス強化

資本コストや株価を意識

PBR向上のため株主・投資家との
対話を充実

compliance

コンプライアンス

企業倫理の向上と
コンプライアンス違反ゼロに注力

内部通報制度の整備、
社内研修・サーベイの実施継続

製品安全・品質保証体制強化

risk management

リスクマネジメント

リスクマネジメント力の強化

リスクを体系化して管理、
リスク感度を強化

新興国リスク・地政学リスクへの
対応強化

スポーツ協賛

東京ヴェルディ



©TOKYOVERDY

160年を超える企業として当社が歩んだ苦難と躍進の歴史と、伝統あるサッカーチームである東京ヴェルディが苦難を乗り越え、16年ぶりにJ1リーグに復帰を果たした姿を重ね合わせ、共感を覚えました。

蝶理は、サッカーチームとしての活動だけでなく、総合型スポーツクラブとして子供たちにスポーツに触れる機会を提供し、将来の可能性を拡げていくことに挑戦している東京ヴェルディのパートナーとして、地域・社会への貢献に共に取り組んでいます。

東レアローズ



蝶理は、東レアローズ静岡（男子バレーボールチーム）とスポンサー契約を締結しました。東レアローズ静岡は、大同生命SVリーグ※所属の名門チームであり、過去に3度の優勝を収めています。当社は、東レアローズ静岡を応援しています。

※2024年に発足した日本バレーボールのトップリーグ（男子10チーム・女子14チーム）。
2027年の完全プロ化を目指している。

波乗りJAPAN

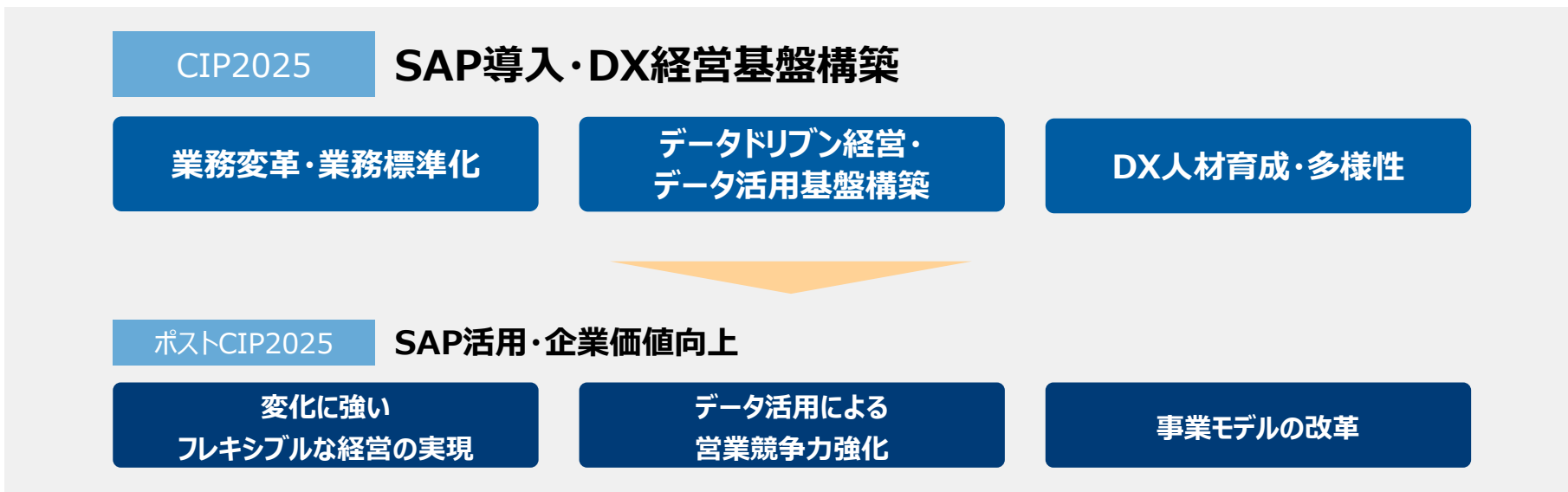


蝶理は、世界の舞台で躍動するサーフィン日本代表「波乗りJAPAN」とスポンサー契約を締結しています。

「海」という自然を相手にするサーフィンは、選手や愛好者の多くが大会中にビーチクリーン等の環境支援活動を積極的に行う等、海や自然の環境保全に対し高い意識を持つ点に共感し、スポンサー契約を締結したものです。

DXによるビジネス変革・経営変革

2022年4月 SAP導入プロジェクト始動。2025年度より、当初予定通り本格稼働。



スケジュール



2026年3月期業績予想

- 当第3四半期の業績及び足元の事業環境を踏まえ、売上高、営業利益、経常利益、税金等調整前当期純利益を下方修正。税金費用の減少が見込まれることから、親会社株主に帰属する当期純利益は据え置き。

(単位：億円)	26/3期 予想 (4月28日発表)	26/3期 今回修正予想 (1月30日発表)	増減	26/3期 3Q末実績	26/3期 今回修正予想 (1月30日発表) 進捗率	25/3期 通期実績
	売上高	3,300		3,000	-300	2,216
繊維	1,660	1,467	-193	1,068	72.8%	1,527
化学品	1,630	1,525	-105	1,141	74.8%	1,579
機械	10	8	-2	6	73.8%	9
その他	—	—	—	1	—	1
税金等調整前 当期（四半期）純利益又は損失	160	145	-15	108	74.3%	163
繊維	78	70	-8	52	73.8%	77
化学品	89	80	-9	61	76.5%	89
機械	3	3	—	3	96.9%	6
その他*	-10	-8	+2	-8	—	-9
親会社株主に帰属する 当期（四半期）純利益	110	110	—	76	69.1%	117

※「その他」には調整額を含んでおります。

4

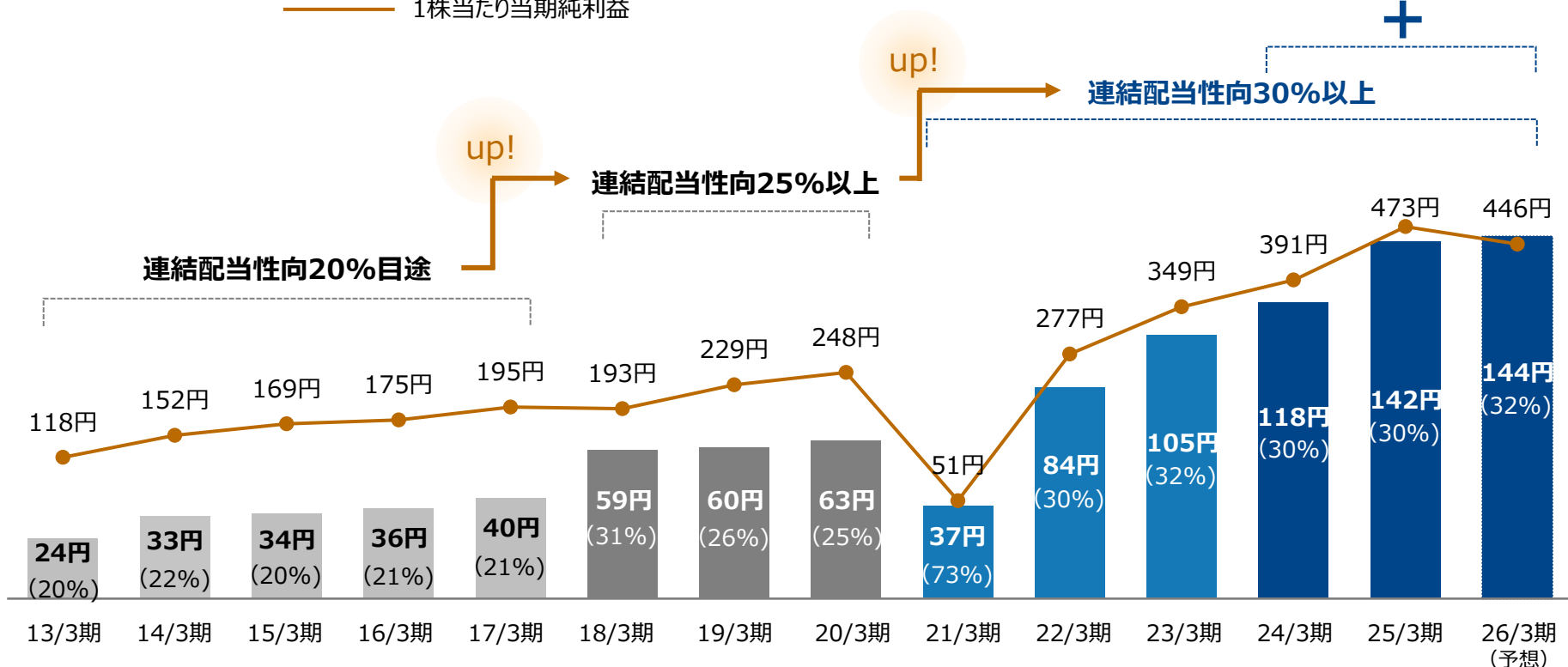
株主還元

配当の基本方針

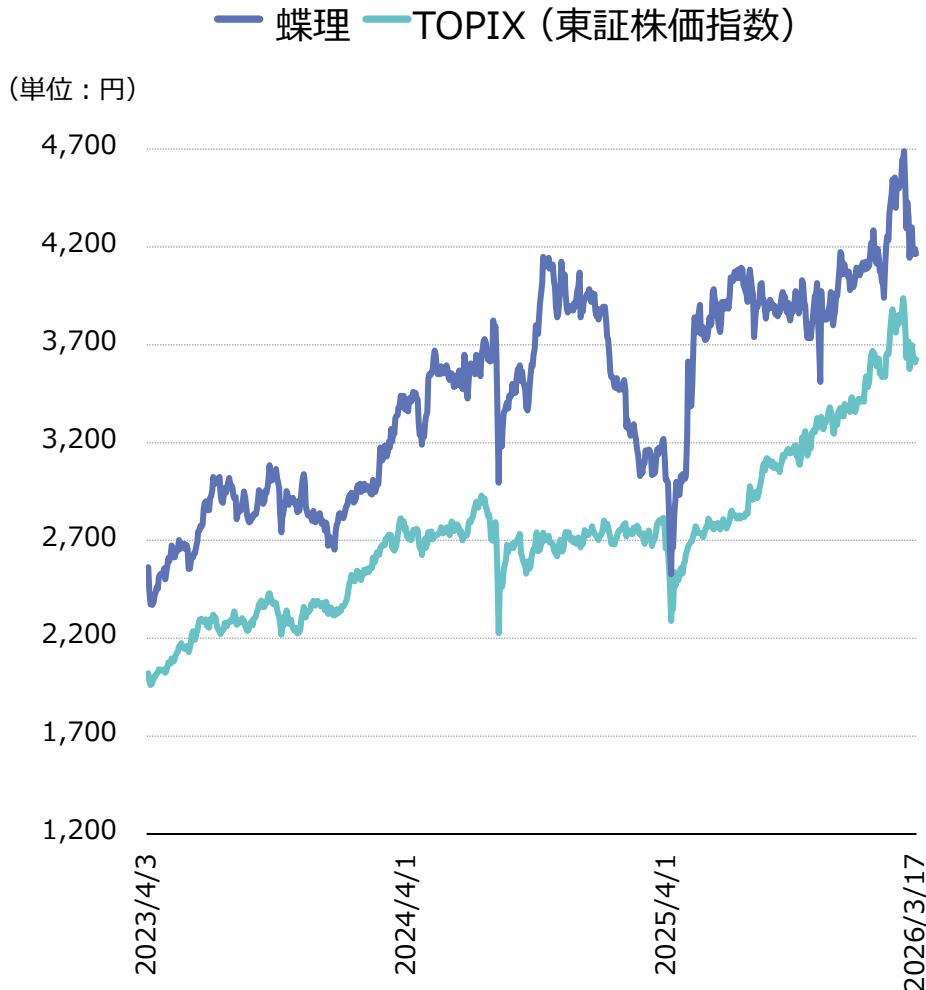
- 親会社株主に帰属する当期純利益の水準に応じた業績連動型配当を実施。
- 配当方針：連結配当性向30%かつ株主資本配当率(DOE)3.5%以上を還元
- 2026年3月期は、中間配当72円を実施。年間配当金144円（期末配当72円）の見通し。

＜配当金の推移＞

■ 1株当たり配当額 () : 連結配当性向
 — 1株当たり当期純利益



当社株価推移



東京証券取引所

株価 (3/17終値)	4,165円
単元株	100株
最低購入代金 (3/17現在)	416,500円
PER (2026年3月期予想)	9.3倍
PBR (3/17現在)	1.1倍
時価総額 (3/17現在)	1,054億円
配当利回り (2026年3月期予想)	3.5%

5

參考資料

親会社からの独立性の確保について

※1 2025年3月31日現在
※2 2025年3月期

親会社との関係

- 親会社：東レ(株)（普通株式12,967千株（議決権比率52.41%）を保有※1）
- 当社の情報収集力や販売力と親会社の素材開発力の連携強化で相乗効果を生み出し、企業価値向上を目指す
- 市場動向や事業環境の把握力、信用力の向上等のグループメリットを享受
- 当社は独自の経営計画を策定し、独自に事業を展開

親会社との間の取引に関する事項

- 親会社とは、繊維・化学品等の売買あり Cf. 売上高12億57百万円、仕入高61億28百万円※2
- 取引条件の決定は、一般の取引価格と同様に公正な市場価格を参考に適正な手続きにより実施
- 親会社とその企業グループとの取引については、社外取締役が委員長を務めるガバナンス委員会にて取引状況を定期的に審議、適正性を確保
- 支配株主と少数株主との利益が相反する重要な取引・行為を審議する必要性が生じた場合、独立社外取締役や外部専門家のみで構成される特別委員会を設置し対応

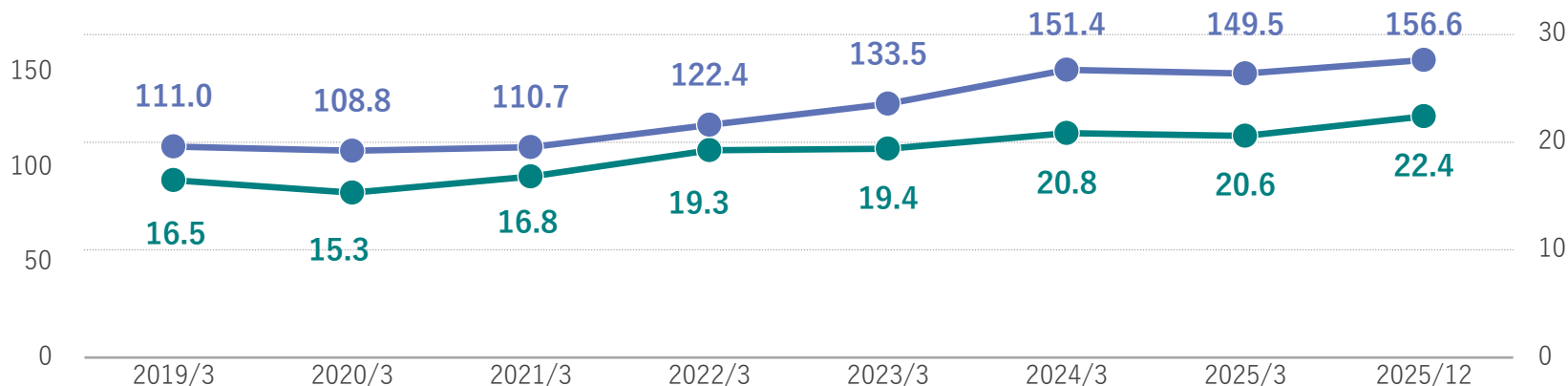
親会社との重要な財務及び事業の方針に関する契約とその内容の概要

- 持続的成長と企業価値向上のため、以下の項目を実行する契約を親会社と締結

- (1) 当社の上場維持の妥当性の検証
- (2) 当社と東レ(株)との間の適正な取引の遂行
- (3) 当社の一般株主の利益に配慮したガバナンスの実効性の確保
- (4) 東レグループとしてのリスク管理の適切な遂行
(ガバナンス及び内部統制に関連する一定の事項についての事前協議事項を含む)

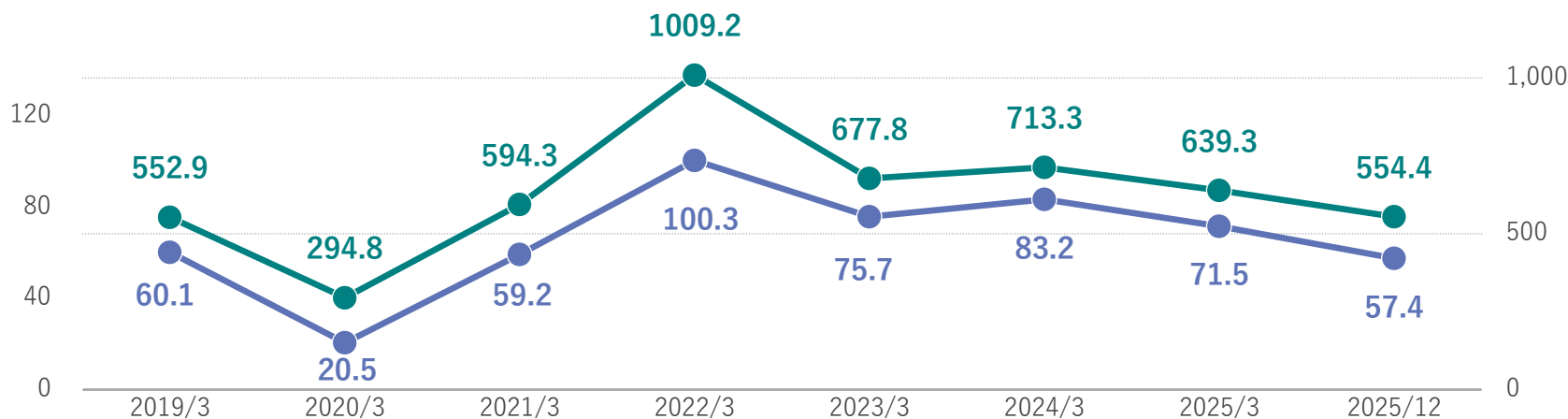
為替レート

(注) 月末時点 (単位:円) ●USD [左軸] ●人民元 [右軸]
出所: 当社期末日レート



石油価格

(注) NY原油: 月末時点/単位:ドル/バレル、ナフサ: 単月平均/単位:ドル/トン ●NY原油 [左軸] ●ナフサ (輸入)[右軸]
出所: 当社調べ



連結の範囲（2026年3月期 第3四半期）

2025年3月期

子会社 31

持分法適用会社 8

合計 39

2026年3月期 3Q

子会社 31

持分法適用会社 7

合計 38

増減 -1

主な子会社

社名	セグメント			備考
	繊維	化学品	機械	
(株)STX	●			21年6月 M&Aによる子会社化 22年1月 商号変更
(株)アサダユウ	●			17年7月 M&Aによる子会社化
ミヤコ化学(株)		●		15年3月 M&Aによる子会社化
(株)小桜商会		●		18年1月 M&Aによる子会社化
蝶理GLEX(株)		●		13年3月 M&Aによる子会社化 18年10月 商号変更
蝶理マシナリー(株)			●	17年4月 新設分割による分社化
CHORI AMERICA, INC.	●	●		初の海外法人
蝶理（中国）商業有限公司	●	●		最重要海外拠点
THAI CHORI CO., LTD	●	●		ASEAN 主要拠点
蝶理（香港）有限公司	●	●		
P.T. CHORI INDONESIA	●	●		ASEAN 主要拠点
台湾蝶理商業股份有限公司	●	●		
CHORI VIETNAM COMPANY LIMITED	●	●		ASEAN 主要拠点
蝶理（大連）貿易有限公司	●			
CHORI SINGAPORE PTE LTD		●		
Chori Europe GmbH		●		
その他15社 計31社				



あなたの夢に挑戦します。

蝶理株式会社

■ お問い合わせはこちらから

<https://www.chori.co.jp/contact/form/input>



■ 当社コーポレートサイト 株主・投資家情報

<https://www.chori.co.jp/ir/>

